

餅つき唄は郷土の文化―― 人々の暮らしと共にある。

特集
Special feature article
福原餅つき唄

伝統文化の継承と新しい文化の創造とが調和している多彩なまち、大田原。

市内には、歴史や文化を伝える文化財、史跡が数多く残されている。長い歴史の中で生まれ、守り伝えられてきた郷土芸能や伝統的技術。衣食住に係る文化をはじめ、地域の生活に根ざした「くらしの文化」。さまざまな伝統文化は、世界に誇るべき日本の、そして市民の貴重な財産だ。

近年、それら郷土の伝統文化を発信しようとする動きが加速している。

その中のひとつ「福原餅つき唄」を追う。

福原餅つき唄

へ那須の与一宗高公は色白で おとこ美男で旗頭よ

福原の温泉林の八重桜 八重にむすんで九重に咲く

九重が十二ひとえに咲くならば 温泉林が花で輝く

友だちがたまに来たのに何もなし 天井とぶ鳥 雁の巻物

巻物をといてのばして酒肴 一つおあがり 菊の玉酒

姫さまにくしと こうがい頼まれて 七日削りて 八日彫りもの

彫りものは 浜に浜松浜千鳥 梅にうぐいす とまるところを

【後略】この唄は15番まであります。





MOCHITSUKIUTA

餅つき唄
もちつき唄

人と杵、一体の妙技に 心さわぐ伝統の文化。

この餅つき唄は、治承4年(1180年)、福原城の那須十郎、与一の兄弟二人が源九郎義経の家来となって平家追討の旅に発つ時に、福原の領民がその出陣を祝って激励の力餅を大勢で面白く、代わる代わるついて差し上げたのが始めと伝えられています。

現在は、与一公顕彰弓道大会にあわせて、福原玄性寺において那須家の墓前供養に餅つき唄を奉納しています。



与一公顕彰弓道大会

毎年9月に、那須与一宗隆公の墓前(玄性寺)において実施されます。

この大会は、安土に扇形的的を掛けて的中を競うもので、普通の的ではなく扇形的的を射るといのは、近隣ではこの大会と那珂川町の与一公顕彰扇形的弓道大会だけです。

要の部分に的中すると「要賞」もあり、多くの参加者が競い合います。

与一まつり

餅つき唄を披露した後、つきたての餅がその場で振る舞われます。機械づきでは味わうことのできない格別な美味しさを堪能できます。

【継承者】

荒木 勝廣さん 福原餅つき唄保存会会長

「粘り強い餅のように、頑張ってもらいたい」
——そう想いを込めて。



あらき・かつひろ 保存会6代目会長。伝統文化である餅つき唄をたくさんの人に知ってもらおうと市内はもとより県内各地で積極的に餅つき唄を披露中

保存会は、福原在住の有志で活動しています。会員は、平成26年から3名増え、現在は18名おられます。うち3名は女性会員です。福原餅つき唄は、9人づきのため人数も必要です。今までは人数も少なく女性もつき手に加わっていましたが、今年からは若い人も増えたので、男手が増えた分迫力も出ると思います。

練習は特になく、ぶっつけ本番。初めての人は最初は少し戸惑いますが、すぐにリズムを覚えてスムーズにつけるようになっていきます。

保存会として、この土地で生まれた文化を新たに加わった後継者と共に何とか守っていきたいです。

また、今の若い人たちは餅つきの手順も知らないし、何よりもち米を冷やすことを知りません。冷やすどころか、米を研いだあとお湯をかけてしまう人までいます。赤飯も同じですが、知らない人が多いことは少し残念です。餅つき唄を通して、伝統文化と共にそういったことも学んでもらえれば嬉しいです。



郷土の 伝統文化 を継承

市指定無形民俗文化財

指定年月日 昭和38年3月7日
所在地 福原1264 玄性寺
管理者 福原餅つき唄保存会

「餅つき唄」に合わせ、軽快なリズムで、3人づき、6人づき、9人づきなどが披露されます。「餅つき唄」は、おめでたい時の県北地方の祝いの唄として知られています。市の文化財にも認定されました。

福原 地区では、むかしから大人数で餅をつくかたちが根付いていました。地域の家々に順番に餅つきをして、みんなでついてまわっていたそうです。特に、若い娘さんがいる家が人気があったようです。

むかしは、各家に大勢集まって、おじいさんが唄をうたって、みんなで餅つきをするという一大イベントでした。起源は、与一公に献上したことから始まりましたが、この餅つき唄がいつの間にか地域に根付いていました。もちろん、もち米も福原地域でつくられたものをつかっています。

練り唄
へ那須与一は 三国一のおとこ美男で 旗頭よ
めでたためだが たび重なれば
鶴が御門に ありや 巢をかけたよ
わらじ切れても 粗末にするな
お米育てた ありや 親じゃものよ

今年度の予定	
8月1日(金)	与一まつり
8月2日(土)	
8月23日(土)	道の駅那須与一の郷夏祭り
9月7日(日)	与一公墓前祭 与一公顕彰弓道大会
10月5日(日)	ねりんピック
10月	福原八幡宮例大祭
11月	市産業文化祭 大田原マラソン

餅つき唄のほかに、練り唄があります。練り唄は好評で、餅を練る姿にも力強さがあります。また、唄の歌詞を聴いて、その意味も考えると、とても面白みもあり、餅つき唄の魅力をさらに感じることができるようではないでしょうか。

※練り唄は餅をつく前に、臼の中でもち米を杵で練る時に歌う。民謡調で難しい。
つき唄は餅をつく時に歌う。

福原餅つき唄保存会
会長 荒木 勝広
TEL 0287 (28) 0905